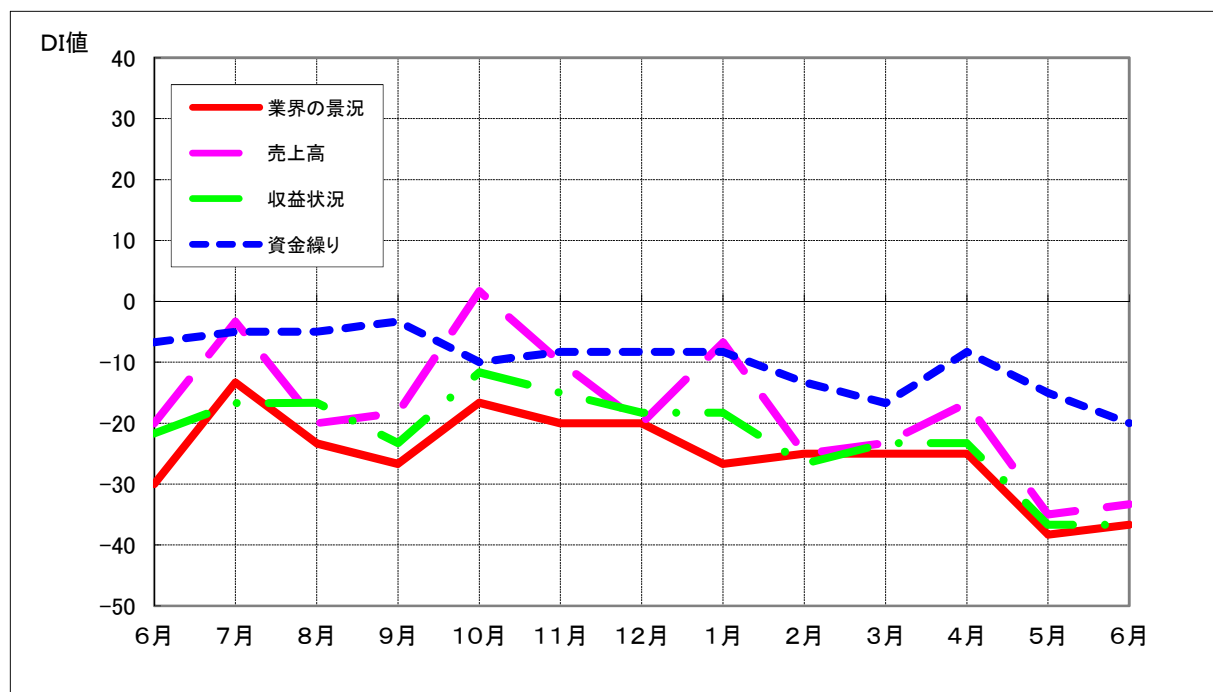


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成30年6月～令和元年6月

単位:ポイント



	H30					H31					R1		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-30.0	-13.3	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-26.7	-25.0	-25.0	-25.0	-38.3	-36.7
売上高	-20.0	-3.3	-20.0	-18.3	1.7	-10.0	-20.0	-6.7	-25.0	-23.3	-16.7	-35.0	-33.3
収益状況	-21.7	-16.7	-16.7	-23.3	-11.7	-15.0	-18.3	-18.3	-26.7	-23.3	-23.3	-36.7	-36.7
資金繰り	-6.7	-5.0	-5.0	-3.3	-10.0	-8.3	-8.3	-8.3	-13.3	-16.7	-8.3	-15.0	-20.0

6月のDI値は前月と比べ、2項目改善、1項目不変、1項目悪化となった。「業界の景況」DI値は1.6ポイント、「売上高」DI値は1.7ポイントそれぞれ改善、「収益状況」DI値は不変、「資金繰り」DI値は5ポイント悪化した。

前年同月比では全項目悪化し、「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「売上高」DI値は13.3ポイント、「収益状況」DI値は15ポイント、「資金繰り」DI値は13.3ポイントそれぞれ悪化となった。

連絡員からは、製造業において、続く原材料等の高騰を理由に各所で値上げの実施・予定が報告されている。また、非製造業からは、消費者の買い控え傾向の声があり、消費税増税による特需があまりみられない厳しい状況のようだ。

組合からの特記事項としては、蒟蒻・漬物・菓子等食料品製造業を中心に、続く原材料等の高騰を理由に各所で値上げの実施・予定が報告されている。既存品の売上が厳しい中で、新商品開発や商品の付加価値を上げる試みをする事業者もあるようだ。また、オリンピックまで約1年となり、ハウスウェア製造業からは業務用厨房用品等のオリンピック特需について報告があった。一方で化粧品小売業や商店街など非製造業からは、消費者の買い控え傾向の声があり、消費税増税による特需についてはあまりみられない厳しい状況のようだ。